

平成 26 年 10 月 28 日

# 南 の 風 8 8

南部ミニバスケットボール連盟

会 長 藤原 敬一

87号では「全国大会を狙える年」の戦い方について書きました。「全国大会出場」という目標がぶれずに1年間戦うことと、チャレンジカップにチームの状態をピークに持っていくことは、コーチやスタッフの力が試されることでもあります。チャンスがあるチームの皆さん頑張ってください。

さて、ミニバスでは、関東大会神奈川予選が佳境に入ってきました。全国大会に出場するためには、4校の縛りがあります。5校以上でチーム構成をしているところにとっては、関東大会出場が、正に今年の最大目標になります。男女ともベスト4が出揃いました。「あと1勝」すれば、関東大会出場が決まります。ここで勝つと負けるのでは、「天と地」の違いです。男女それぞれ4チームの皆さん、自チームの力を信じて全力で頑張ってください!!!

最終日は、下記の通り行われます。

《最終日組み合わせ》	11月2日(日)	〈平塚総合体育館〉
10:00~	女子準決勝 柿 生	— 小菅ヶ谷
11:00~	女子準決勝 明 治	— 榎が丘
12:00~	男子準決勝 荏田南	— 川上北
13:00~	男子準決勝 鶴久保	— 原三ツ境
14:30~	女 子 決 勝 戦	
15:45~	男 子 決 勝 戦	

神奈川県ミニバスのトップレベルのゲームです。ぜひご観戦ください。

さて最近、中学生の新人戦のゲームを続けて観る機会がありました。その中で、気が付いたことを書いてみます。ミニバスとも共通することがあります。

1つ目はエントリーについてです。ボールをフロントコートに進めて攻撃を始めるには、パスかドリブルで入るわけです。パスの場合、ウイングにエントリーするかポストにエントリーするかになりますが、レシーブする側の準備が遅い気がします。しっかりミートしなかったり、フラッシュがいい加減であったりすることがゲームの中で多く見られました。すると次のパスのタイミングにも影響し、攻撃全体にずれが生じます。ディフェンスがタイトな場合は、特に気を付ける必要があります。しっかりミートレシービングして攻撃を始めたいものです。そのためには、レシーバーとパッサーのアイコンタクトやトーキングが大切です。ドリブルでエントリーする場合は、さらにレシーバーとドリブラーとのタイミングの合わせ方が大事になります。「**何処でボールをほしいか**」の意思表示をレシーバーがしっかり行います。ボールがこなければ、ポジションチェンジかアウェーすべきです。この辺が中途半端になるとターンオーバーの原因になります。また、ボールサイドでうまくエントリーできない時は、すかさず逆サイドにエントリーしましょう。ここも逆サイドのウイングが素早く察知し、ボールミートすることが大切になります。**間を空けず**にやれるようにしたいものです。積極的なボールミートとトーキングで攻撃のタイミングを合わせることが、オフェンスの流れをよくしていきます。 続きは次号で。